



(別添)

2020年10月22日
NITE(ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
中国支所

News Release

誤った使い方で大けがを負うことも ～はしご・脚立の事故に注意～

—中国5県版—

1. はしご・脚立の事故発生状況

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報^{※1}では、はしご・脚立^{※2}の事故は、中国地方5県(鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県)では2010年度から2019年度までの10年間に19件^{※3}ありました。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。

(※2) ロフト用のはしごや天井収納型のはしごの事故を除く。はしご兼用脚立は、はしご状態として使用したときに発生した事故は「はしご」、脚立状態として使用したときに発生した事故は「脚立」としてカウントする。

(※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(1) 中国5県の年度別 事故発生件数

表1に「年度別・県別」はしご・脚立の事故発生件数を示します。

表1 「年度別・県別」はしご・脚立の事故発生件数

年度	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
2010年度					3	3
2011年度		1		2		3
2012年度				1	1	2
2013年度	1					1
2014年度	1		1			2
2015年度	1					1
2016年度			2			2
2017年度					1	1
2018年度		2				2
2019年度				2		2
合計	3	3	3	5	5	19

(2) 中国5県の被害状況別 事故発生件数

表2に「被害状況別・県別」はしご・脚立の事故発生件数を示します。

表2 「被害状況別・県別」はしご・脚立の事故発生件数

被害状況※4		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
人的被害	死亡	1					1
	重傷	2	1	2	1	1	7
	軽傷		2	1	3	4	10
物的被害	拡大被害						0
	製品破損				1		1
被害なし							0
合計		3	3	3	5	5	19

(※4) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 事故事例の概要について

中国5県で発生したはしご・脚立の事故の主な事例を示します。

① はしご兼用脚立の使用時、転倒したと推定される事故。

2011年10月（島根県、40歳代・男性、重傷）

【事故の内容】

当該はしご兼用脚立をはしご状態で使用中、転倒し、負傷した。

【事故の原因】

はしごの強度等に異常は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。
 なお、はしごの支柱の破損は、使用者がバランスを崩して転倒し、その際の衝撃により生じたものと推定される。

② 小型の箱形踏み台の上に幼児が座ったところ、一部が破損した。

2013年3月（広島県、0歳代・女性、製品破損）

【事故の内容】

折りたたみ式踏み台の上で幼児が座っていたところ、突然破損した。

なお、当該製品は四角錐台形の折りたたみ式踏み台（ポリプロピレン製、耐荷重100kg）で、天板及び側面板の必要な箇所にヒンジが設けられている構造であった。

【事故の原因】

事故品は、長辺側面板の1枚が、破断していた。事故品の短辺側面板には成形不良によるたわみが認められ、側面板中央のヒンジが外れやすい状況にあったことから、使用中に当該ヒンジが外れて長辺側面の切り欠き部に応力が集中し、当該部位に多数存在していたボイド（気泡）の一つを起点に破断したものと推定される。

③ 踏み台を使用中、バランスを崩して転倒、落下した事故。

2019年6月（島根県、年齢不明・男性、軽傷）

【事故の内容】

踏み台を使用中、踏ざん（踏み台を上へのぼる際の足場）が脱落し、転倒して打撲を負った。

【事故の原因】

踏ざんを取り付けている支柱のねじ取付穴が使用時の荷重により拡大したため、踏ざんにがたつきが生じ、ねじに荷重が繰り返し加わり続けたため、ねじが破断して踏ざんが支柱から脱落したものと考えられるが、業務用で使用されていたため、使用状況が不明なこと、事故品支柱の寸法、強度が確認されていないことから、ねじ取付穴が拡大した原因の特定はできなかった。

3. はしご・脚立の事故の実験映像について

はしご・脚立の事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒730-0012 広島市中区上八丁堀 6-30 広島合同庁舎 3号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中国支所

担当者：東瀬、折田

電話：082-211-0411

以上